

結核病患者の褥瘡治癒期間に影響を及ぼす要因

・はじめに

結核は消耗性疾患のため、罹患患者は、低栄養であり、糖尿病、癌など合併症を有し、また、日常生活動作の助けが必要な状態の患者が多くみられます。日々のケアで褥瘡予防をおこなっているにも関わらず、年間4～5名褥瘡が発生しています。

本研究で、(1)結核病棟における褥瘡発生の状況を明確にし、(2)治癒期間に影響を及ぼす要因を調査し、今後の予防、治療に生かしたいと考えました。

・対象

平成22年4月1日から平成28年3月31日までに千葉東病院 結核病棟で入院中に褥瘡の診察・加療を行った患者の臨床情報が対象です。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

下記の臨床情報を集計します。

- ① 臨床所見(年齢、性別、身長、体重、ADL)
- ② 血液所見(アルブミン値など)
- ③ 褥瘡重症度スコア(DSIGN-R)
- ④ 治療(被覆材・投与薬剤など)
- ⑤ 治療反応性・予後

この研究を行うことで患者さんに余分な負担が生じることはありません。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、千葉東病院 形成外科においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・研究期間

研究を行う期間は承認日より平成30年3月31日まで

・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は褥瘡治療の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・研究機関

研究責任者:千葉東病院 形成外科 千明 信一 (研究計画書作成担当者)

医師:有川 理沙

千葉東病院 看護部 師長:米川 敦子

副師長:鍋島 久代

看護師:桑田 ふみ子

共同研究者:淑徳大学 栄養・看護学部 田中秀子

連絡先

〒260-8712

千葉市 中央区 仁戸名町673

千葉東病院 形成外科

043-261-5171

担当 千明 信一